

Web×IoTメーカーズチャレンジについて

令和2年12月

国際戦略局
通信規格課

～Web×IoTメイカーズチャレンジ2020-21～

- 新たなIoT機器・サービスの開発を行う若者等の電波利用に関するリテラシーを向上させることを目的とし、電波リテラシーを含むIoTの基礎知識・技能を習得するための講習会（講義＋ハンズオン）と、その習得技能を活用した成果発表としてチームでIoT作品のプロトタイプを創作するハッカソン体験を開催する。

概要

- 受講対象** : 開発者を目指す若者（主に大学生や高専生）で、HTMLやJavaScriptの基礎知識を有する者を推奨。
- 人数** : 1回当たり20～40名を想定
- 時間・形式** : 原則4日間（講習会2日間＋ハッカソン体験2日間）
- 実施場所** : 全国6か所（関東、信越、北陸、東海、中国、四国）
＋地元自治体等による自律開催2か所（中国、四国）
- 講習内容** : ○講習会
 - 講義（電波リテラシーを含むIoTの基本知識）
 - ハンズオン（ハードウェア・ソフトウェアの知識・技能）
 ○ハッカソン体験（習得技能を使用した成果発表）



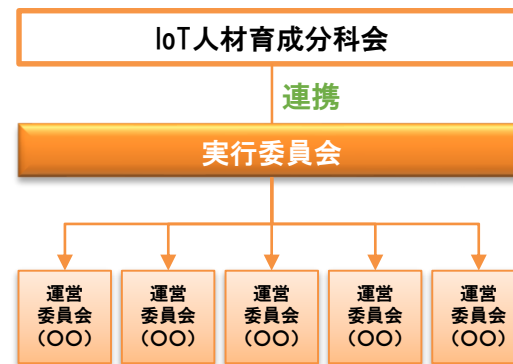
実施体制

総務本省（実行委員会）:

- 実行委員会の設置と開催
- 運営委員会の設置
- 基本方針の策定（カリキュラム、アンケート等含む）
- 事業全体の広報活動（ポータルサイト運営等）

総合通信局等（各地運営委員会）:

- 運営委員会の開催
- イベントの企画、運営、管理、主催（会場、講師、審査員手配等含む。）
- イベントの広報活動、報道発表（告知・参加者募集等）
- イベントの当日準備（会場受付、必要機材等の準備）



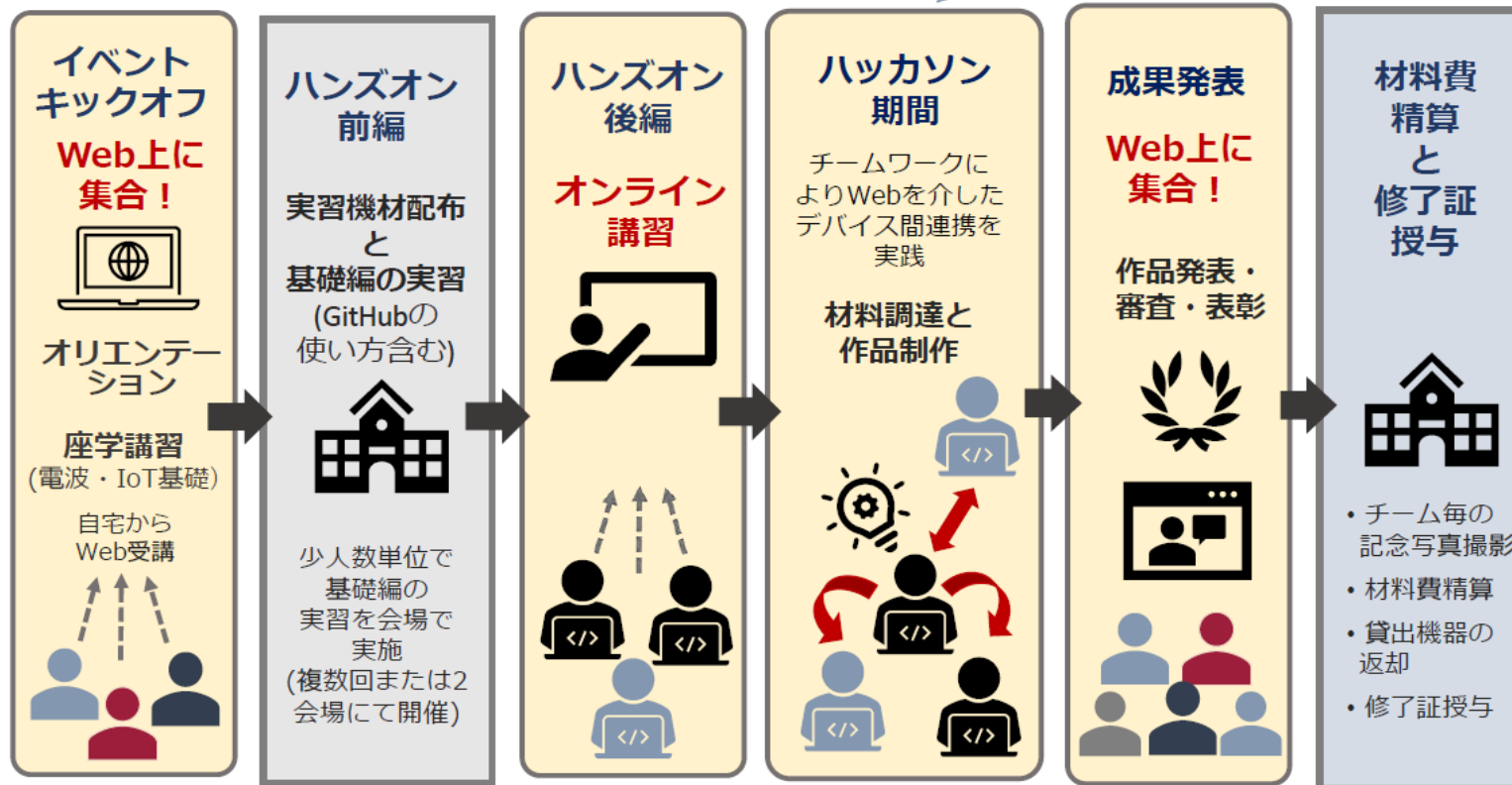
令和2年度実施内容

- 新型コロナウイルス感染症の影響下でのWeb×IoTメイカーズチャレンジ開催に関して、開催地域による状況の差異を考慮し、①参加者数や開催時間、会場等の工夫、②講習会のオンライン活用、③ハッカソンのオンライン活用等の対策案や指針を検討し、運営マニュアルとして各地に共有済み。
- 今年度は、下記の一例のように、オンラインを活用した新たな形態でのイベント開催を予定。

イベント開催イメージの一例

<オンライン中心のイベントの場合>

- Slack上でのメンターサポート
- 定期的なオンラインのビデオサポート開催



令和2年度開催予定一覧

地域	運営委員会事務局	講習会	ハッカソン体験	備考
茨城	(株)常陽産業研究所	20名 2021年 1/30	2021年 2/27-28	参加チームごとに分散してオンライン開催
石川	(一社)コード・フォー・カナザワ	36名 2020年 11/1~11/22 11/23 (オンデマンド)	36名 2020年 12/12-13	オンライン開催
長野	(一財)塩尻市振興公社 (一社)WebDINO Japan	27名 2020年 11/7-8	27名 2020年 12/5-6	3会場で分散開催
大垣	(同)4D Pocket	26名 2020年 11/28-29	2020年 12/19-20	人数を制限してオンサイト開催
岡山	(一社)WebDINO Japan	24名 2020年 11/22-23	2020年 12/13・12/20	人数を制限してオンサイト開催
徳島	テック情報(株)	18名 2020年 10/24-25	18名 2020年 11/28-29	オンライン開催
鳥取	鳥取県商工労働部 産業振興課	募集中 2021年 1/9-10	2021年 2/13-14	2会場で分散開催
香川	情報通信交流館 (e-とびあ・かがわ)	募集中 2020年 11/22~12/19	2021年 1/23・2/23	2会場で分散開催

<https://webiotmakers.github.io/2020/>

